

48 タシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Gallinago gallinago

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では旅鳥、本州、四国、九州では旅鳥または冬鳥、沖縄では冬鳥。兵庫県では主に9-翌5月に見られる。湖沼や水田、ハス田、湿地、河川に生息する。水辺でくちばしを泥の中にさしこんでミズ類や甲殻類、軟体動物、昆虫類を採食する。



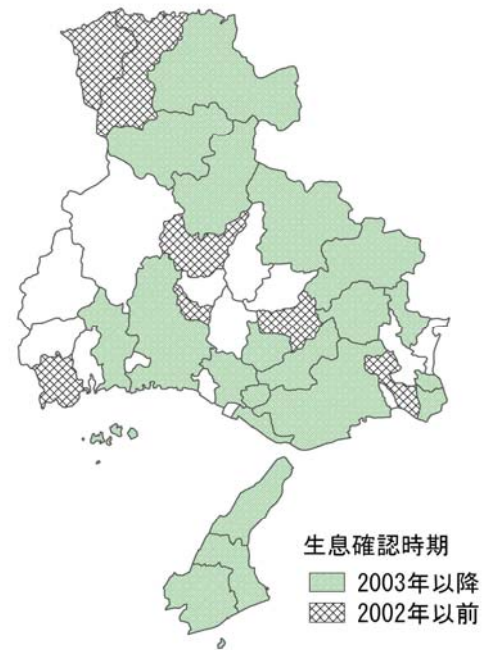
写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、(西宮市)、洲本市、伊丹市、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、三木市、小野市、三田市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、(加東市)、たつの市、猪名川町、稲美町、(福崎町)、(神河町)、(香美町)、(新温泉町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
かつては県北部や中南部で数10羽から100羽前後の群れが見られていた。近年は単独または数羽の小群が記録される程度に減っている。水草が多いため池の水が抜かれると多数の個体が飛来する。



写真提供:但馬野鳥の会

保護上の留意点

湿田や水を張った休耕田などの保全に加え、河口や河川敷、池沼などでの沼沢地的環境の再生が必要。特に現在越冬が確認されている場所における生息環境の保全と再生が重要。